

2013年1月31日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報7号  
ラゴア周辺の路上で強盗、ひったくり多発

ラゴア(ロドリゴ・フレイタス湖)周辺の路上で強盗やひったくりが多発しています。

ラゴア北側の Rua Maria Angélica (別添地図①)では、被害者を引きずり倒すなど手荒な手口のひったくりが頻発しています。通りに並ぶ高級レストランに出入りする客を標的にしていると見られていますので、付近を徒歩で移動する際は不審者の動向に注意するとともに、目立つバッグなどを持たないように注意してください。

29日にはラゴア西側の Av. Epitácio Pessoa のカタクンバ公園付近(別添地図②)で、オートバイ2人乗りの賊が立て続けに通行車両数台の窓ガラスを割ってバッグなどを強奪しました。同様の手口は、ラゴア南西に位置するフラメンゴ・レガッタクラブの付近の Rua Ministro Raul Machado (別添地図③)や Av. Visconde Albuquerque (別添地図④)でも続発しています。

自動車を標的とした強盗は、朝夕の渋滞時に発生しており、複数の車を連続して襲撃します。車内の目につきやすいところにバッグなどを置かないよう注意するとともに、万一被害に遭ってしまった場合は、抵抗せず、冷静に対応するよう心がけてください。